

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第296回委員会議事録

1. 日 時 平成22年11月19日(金) 9:30~16:45
2. 場 所 東京大学 本郷キャンパス 工学部8号館 85番講義室
3. 出席者56名 (順不同・敬称略)

委員長： 寺井隆幸(東大)

主 査： 川口雅之(大阪電通大)、児玉昌也(産総研)、森田登(日本工大)

幹 事： 鏑木裕(東京都市大)、稲垣道夫(北大名誉)、安田榮一(東工大)、
吉田明(東京都市大)、尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、
小林知洋(理研)

委 員： 須田吉久(三菱鉛筆)、柴田大受(原子力機構)、小田廣和(関西大)、
白石稔(東海大)、武藤浩行(豊橋技科大)、蛭谷玄太(コバレント
マテリアル)、岩下哲雄(産総研)、沖野不二雄(信州大)、
近藤純子(東洋炭素)、塩山洋(産総研)、新野仁(物材機構)、
川野陽一(新日鐵化学/代理:小野浩嗣)、戸田晋次郎(日本電極)、
小野雅博(川俣精機/代理:大槻正喜)、福田敏昭(東海カーボン/
代理:鶴田圭子)、杉浦勉(新日鐵/代理:飯島孝)、山下良(新日
本テクノカーボン/代理:菅原利夫)、阿久沢昇(東京高専)、
松平寛司(関西熱化学/代理:粕谷重明)、畔津秀明(帝国カーボン)、
土屋広志(鉄道総研)、大平雅彦(富士カーボン製造所)、原田博文
(日本カーボン/代理:柴田博史)、鈴木新一(東炭化工/代理:大
西孝幸)、仁平徹(日立化成)

委 員 外： 山田能生(産総研)、奥達雄(茨城大)、菱山幸宥(東京都市大)、
木村脩七(東工大)、松本里香(東京工芸大)、夏目勇(東海カーボ
ン)、宮嶋尚哉(山梨大学)

同 伴 者 他： 棚崎真実(東京高専)、荏畑さつき(東京高専)、古茂田朋寛(東京高専)、
スバスニ(東京高専)、曾根田靖(産総研)、吉澤徳子(産総研)、
中西悠二(東芝三菱電機産業システム)、杉本憲正(東芝三菱電機産業
システム)、神成尚克(群馬大)、北野高広(信州大)、太田直人(東洋
炭素)、吉本修(東洋炭素)、園田雅樹(東洋炭素)

4. 本委員会議事経過

寺井委員長司会の下に本委員会を開催した。

4.1 前回議事録の承認

以下を訂正して第 295 回議事録（案）を承認した。

A 分科会議事録

117-295-A-1 5 行目 モザイク上 → モザイク状

B 分科会議事録

117-295-B-1 5 行目 低電流 - 低電圧 → 定電流 - 定電圧

10 行目 低電位 → 定電位

4.2 第 117 委員会関係

(1) 委員長報告等

(a) 学振産学連携委員会委員長会議に関して報告があった。

(b) 日独セミナー（117 委員会特別講演会）について

- ・ 第二回日独セミナーは 9/21（火）に開催され、発表件数は招待講演として日独それぞれ 2 件（産業界、学界各 1 件）、口頭発表が日独それぞれ 4 件、ポスター発表 16 件（全て日本側）で、計 28 件であった。また参加者は日独それぞれ 61 名、8 名であった。
- ・ 上記セミナーに関して、決算が報告された。
- ・ 第三回日独セミナーは再来年ポーランドで行われる Carbon2012 国際会議の後にドイツで開催予定。

(c) 量子ビーム融合化利用研究について

量子ビーム融合化利用研究に関する先導的研究開発委員会（H22.4 設立）にて H23 年度の科研費新学術領域研究（研究領域提案型）への応募を取りまとめている。117 委員会からは豊田幹事を研究代表者として研究課題「組織構造変化を伴う炭素系材料機能の科学」で申請を行った。

(d) 知財関係について

117 委における知財関係の取扱いについて、来年度初めを目処にガイドラインを定める。

(e) 300 回記念シンポジウムについて

来年度に第 300 回の区切りを迎えるにあたり、記念行事としてアジア連携をテーマとしてシンポジウムを開催したい。中韓印豪各国より各一名程度招待する案を検討中。

(f) 産業界委員からの幹事委嘱について

産学連携を推進するにあたり、他の委員会の動向も視野に入れて将来的に産業界から少なくとも 1 名、幹事を委嘱したいと考えている。

(g) 次回以降の予定について

H23 第 1 回 (297 回) 4 月 15 日 東工大 (会場担当：榎幹事)

H23 第 2 回 (298 回) 7 月 15 日 東京都市大 (会場担当：吉田幹事)

H23 第 3 回 (299 回) 9 月 16 日 産総研 (会場担当：児玉幹事)

H23 第 4 回 (300 回) 11 月 17,18 日 東京大 (会場担当：寺井委員長)

(2) 分科会報告

(117-296-C-1) 炭素繊維不織布のリチウムイオン電池負極への応用

○北野高広^{1,2}, 岩田章³, 神谷幸子⁴, 沖野不二雄⁴

(平松産業株式会社¹, 信州大院総工², 信州大院工³, 信州大繊維⁴)

(117-296-C-2) 超高温電気抵抗率測定装置の開発

○吉本修, 岡田雅樹, 太田直人 (東洋炭素株式会社 技術開発本部)

(117-D-112-1) C/C 複合材カーボンの電気鉄道パンタグラフスライダーへの適用について

○土屋広志, 久保俊一, 久保田喜雄 (鉄道総研)

(117-D-112-2) 日本も主導する IEC ブラシ関係 8 規格廃止提案阻止の動向について

○森田登 (日本工業大)

(117-296-A-1) 炭素化ポリイミドフィルムのアセトン吸脱着に伴う電気抵抗変化

丸山和音¹, スバスニ¹, 玉田耕治¹, ○阿久沢昇¹, 竹市力²

(東京高専¹, 豊橋技科大環境・生命工学系²)

(117-296-A-2) 活性炭の吸着特性と X 線回折図形の関係 - 回折強度の補正の影響 -

○岩下哲雄 (産総研)

(117-296-B-1) ナノダイヤモンド熱処理に伴うカーボンオニオンの構造形成とその酸素還元活性

○神成尚克, 尾崎純一 (群馬大院工)

4.3 報告事項

(1) 炭素材料学会関係

学会関係：阿久沢委員 (運営委員長) より以下の報告があった。

(a) 現在会員数 (10/4 現在) 正会員 821 名 学生会員 253 名 合計 1074 名
賛助会員 54 社 59 口

(b) 評議員会 (11/19) トラストシティカンファレンス (丸の内) 17:30～

(c) 年会 2010 年 12 月 1 日 (水) ～3 日 (金) 姫路市市民会館

特別講演：姫路市立城郭研究室：上田耕三氏「世界文化遺産・姫路城の保存と修理 (仮題)」

(d) HP リニューアル WG メンバー (押田、木島、児玉)

(e) 年会要旨集 A4 版化を検討中

(f) 2 月セミナー 2/4 日本教育会館 次世代リチウム電池セミナー

炭素誌関係：鏑木幹事 (編集委員長) より以下の報告があった。

(g) 245 号に年会プログラムを掲載中。

(h) 246 号以降投稿数が少ない状況。

(i) 大谷杉郎先生の追悼特集を予定している。

(j) 12/18-19 は J-stage 利用停止。

(k) 投稿規定を見直し、総説・解説・総合論文・速報等の定義付けを行う。

(l) 第二回日独セミナーの小特集を行う。発表者に投稿を呼びかける。

(2) 国際会議関係

特になし

(3) その他

分科会資料訂正 117-295-A-1 (ソフトウェア名) Lyne Eye → Lynx Eye

(以上)